

I 第29週の発生動向 (2012/7/16~2012/7/22)

1. 手足口病については、むつ保健所管内に、新たに**警報**が発令され、東地方+青森市保健所管内では第21週から、弘前保健所管内では第28週から**警報**が継続しています。

II 第29週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科	(85)														0				
(74) RSウイルス感染症	5	0.6	3	0.3			2	0.4	3	0.5	1	0.3	14	0.3	-2			5	0.6
(75) 咽頭結膜熱	3	0.4									1	0.3	4	0.1	-15			3	0.4
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	1.4	6	0.7	29	3.2	1	0.2	3	0.5	5	1.3	55	1.3	1			11	1.4
(77) 感染性胃腸炎	16	2.0	9	1.0	8	0.9	3	0.6	2	0.3	16	4.0	54	1.3	-17			16	2.0
(78) 水痘	11	1.4	5	0.6	8	0.9	1	0.2			3	0.8	28	0.7	-4			11	1.4
(79) 手足口病	101	12.6	81	9.0	1	0.1	13	2.6	6	1.0	25	6.3	227	5.5	-8			101	12.6
(80) 伝染性紅斑					1	0.1							1	0.0	-2				
(81) 突発性発しん	4	0.5	2	0.2	3	0.3	1	0.2	6	1.0	3	0.8	19	0.5	6			4	0.5
(82) 百日咳			1	0.1									1	0.0	-1				
(83) ヘルパンギーナ	6	0.8	17	1.9	1	0.1			10	1.7	9	2.3	43	1.0	9			6	0.8
(84) 流行性耳下腺炎	7	0.9	7	0.8	1	0.1			1	0.2	3	0.8	19	0.5	-12			7	0.9
(86) 急性出血性結膜炎	1	0.5											1	0.1	0			1	0.5
(87) 流行性角結膜炎	3	1.5			1	0.5	3	3.0					7	0.6	4			3	1.5
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			3	3.0	7	7.0	2	2.0			2	2.0	14	2.3	-4				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸1人、五所川原2人(2012年計:255人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報は、ありませんでした。

感染症の窓

先天性風しん症候群 (五類全数把握疾患)

表 国内の県別風しん患者報告数

都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	2	滋賀県	10
青森県	0	京都府	23
岩手県	0	大阪府	154
宮城県	2	兵庫県	183
秋田県	3	奈良県	10
山形県	3	和歌山県	4
福島県	1	鳥取県	1
茨城県	5	風根県	0
栃木県	1	岡山県	3
群馬県	8	広島県	7
埼玉県	29	山口県	0
千葉県	18	徳島県	0
東京都	158	香川県	1
神奈川県	52	愛媛県	0
新潟県	1	高知県	0
富山県	1	福岡県	15
石川県	0	佐賀県	1
福井県	8	長崎県	0
山梨県	3	熊本県	2
長野県	5	大分県	1
岐阜県	1	宮崎県	0
静岡県	4	鹿児島県	2
愛知県	18	沖縄県	17
三重県	5	総数	728

妊娠初期の女性が風疹に罹患すると、風疹ウイルスが胎盤を介して胎児に感染し、出生児が先天性風しん症候群を発生することがあります。妊娠中の感染時期により重症度、症状が異なりますが、妊娠2カ月以内の女性が風疹にかかると、出生児は白内障、先天性の心臓病、難聴の2つ以上を持って生まれてくるが多くなります。妊娠3~5カ月に感染した場合でも難聴が多くみられます。その他、子宮内での発育の遅れ、網膜の病気、緑内障、小頭症、髄膜炎、精神運動発達に遅れ、肝臓や脾臓が腫れ、血小板減少性紫斑病などの症状が出生児に認められる場合があります。

予防には、個人防衛として女性が妊娠する前にワクチンによって風しんに対する免疫を獲得すること、社会防衛としては風しんワクチンの接種率を上げることによって風しんの流行そのものを抑制し、妊婦が風しんウイルスに曝露されないようにすることが重要です。(参考：厚生労働省報道発表「先天性風しん症候群の発生防止」)

今年は国内で、風しんの地域的な流行が見られます(表)。県内の患者報告は、まだありませんが、今後の動向に注意が必要です。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（届出数は速報値です）単位：人 2012年第10週～第28週

c	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
10	H24.3.5 ~ H24.3.11						
11	H24.3.12 ~ H24.3.18						
12	H24.3.19 ~ H24.3.25						
13	H24.3.26 ~ H24.4.1		梅毒(1人)				
14	H24.4.2 ~ H24.4.8						
15	H24.4.9 ~ H24.4.15			腸管出血性大腸菌感染症1人 急性脳炎1人			
16	H24.4.16 ~ H24.4.22						
17	H24.4.23 ~ H24.4.29						
18	H24.4.30 ~ H24.5.6						
19	H24.5.7 ~ H24.5.13						
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	腸管出血性大腸菌感染症1人 E型肝炎1人	つつが虫病1人				
21	H24.5.21 ~ H24.5.27		梅毒1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3			後天性免疫不全症候群1人	つつが虫病1人		
23	H24.6.4 ~ H24.6.10			レジオネラ症1人		つつが虫病1人	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17			バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
26	H24.6.25 ~ H24.7.1						腸管出血性大腸菌感染症1人
27	H24.7.2 ~ H24.7.8		つつが虫病2人				
28	H24.7.9 ~ H24.7.15	つつが虫病1人					

VI 結核(二類全数把握疾患)

単位：人

2012年第10週～第28週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
9	H24.2.27 ~ H24.3.4	9					
10	H24.3.5 ~ H24.3.11	3	3	2	1	1	
11	H24.3.12 ~ H24.3.18	5		4		4	
12	H24.3.19 ~ H24.3.25		1	3		5	1
13	H24.3.26 ~ H24.4.1	1	6	3	1	3	
14	H24.4.2 ~ H24.4.8	1	2	4		3	
15	H24.4.9 ~ H24.4.15		4	1	2	1	
16	H24.4.16 ~ H24.4.22	5	2	4		1	
17	H24.4.23 ~ H24.4.29	3		7		1	
18	H24.4.30 ~ H24.5.6	2	1	7	1		
19	H24.5.7 ~ H24.5.13	3	1				
20	H24.5.14 ~ H24.5.20	1	1	2	1	2	1
21	H24.5.21 ~ H24.5.27	2	1	2	1	2	
22	H24.5.28 ~ H24.6.3	6	1	2		2	
23	H24.6.4 ~ H24.6.10	1	1	4	1	1	
24	H24.6.11 ~ H24.6.17	3		3		1	
25	H24.6.18 ~ H24.6.24	3		3	1	1	
26	H24.6.25 ~ H24.7.1	2		1	1	1	
27	H24.7.2 ~ H24.7.8	1		2	2	2	
28	H24.7.9 ~ H24.7.15		3	6	2	1	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

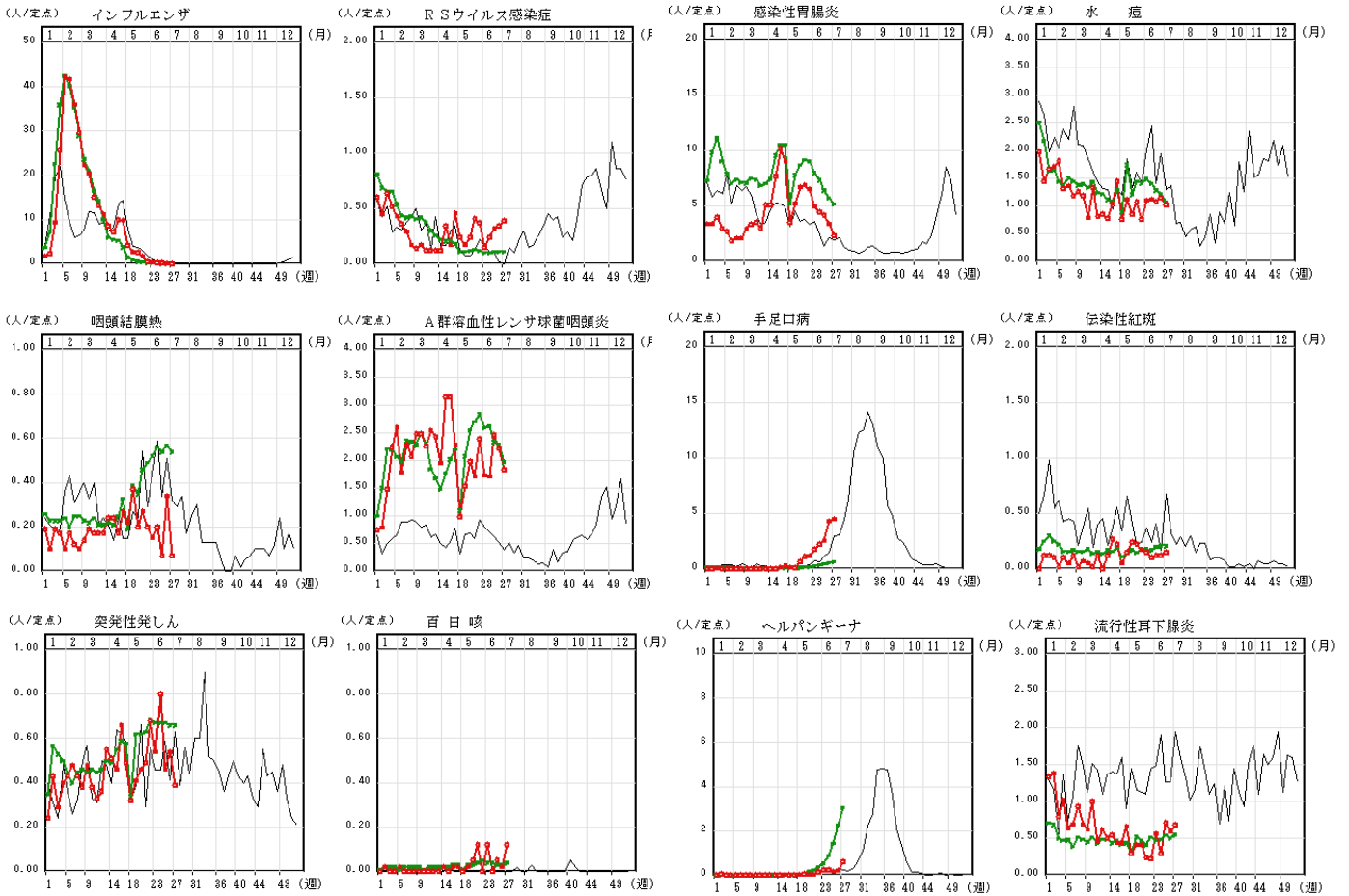
2012年7月24日9時00分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイテス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	
全国	15781	2	112	1202	15	10	75	109	6	5	1	1	190	74	42	3	38	5	449	5	
青森県	252	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	2	0	
	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト-ヤコブ病	創症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹							
全国	467	119	228	6	99	146	746	30	7	447	54	46	741	195							
青森県	2	0	2	0	0	1	3	0	0	3	0	1	0	0							

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、——は2011年青森県、×—×は2012年全国

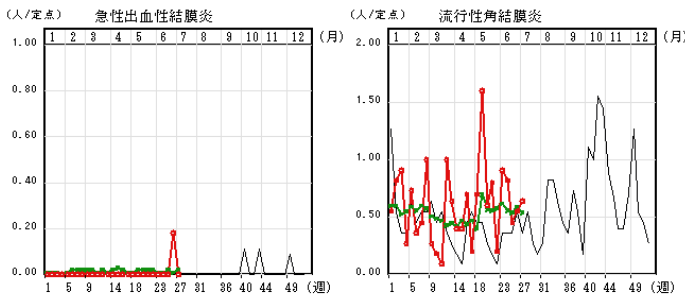
Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2012年第28週



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2012年第28週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2012年第28週

